PRO CHEF

フードプロセッサー

取扱説明書

フードプロセッサー

型式 **PS-2000S**

型式 **PS-3000S**

●このたびは、プロシェフ フードプロセッサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

●この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。

●お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

お客様用

もくじ

■安全上のご注意 …… 1

■各部のなまえとその働き …… 4

■別売品のご案内 …… 5

■注意ラベルの貼付位置 …… 5

■設置と運転前の確認 …… 6

■ご使用方法 …… 7

- ●運転の手順 …… 8
- ●モーメンタリースイッチについて …… 9
- ●プロテクターについて …… 10
- ●安全スイッチについて …… 10

■お手入れ……11

- ●毎日のお手入れ …… 11
- ●汚れが目立つときのお手入れ …… 12

■点検 ……12

- ●1年に1～2回の点検 …… 12
- ●保管方法 …… 12

■故障の見分け方と処置方法 … 13

■譲渡・廃棄 …… 13

■仕様 …… 14

保証書・アフターサービスについて…巻末

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

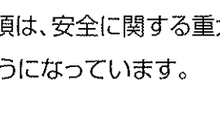
図記号の例

感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
分解禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

⚠ 警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

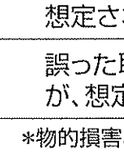
もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。



損傷確認

アース工事を必ず行なうこと

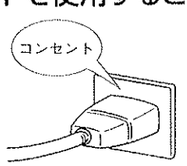
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）



アース工事

電源は専用コンセントを使用すること

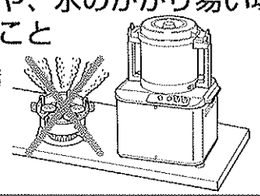
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

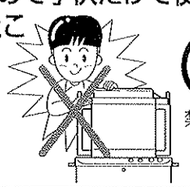
熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

熱器具禁止

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。

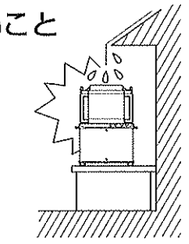


禁　止

⚠ 警告

屋外で使用しないこと

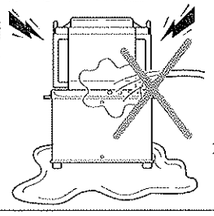
雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

製品に直接水をかけないこと

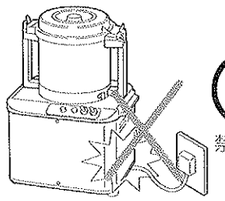
ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

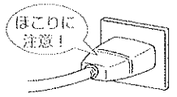
加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁　止

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

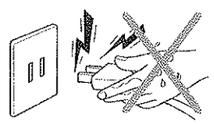
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

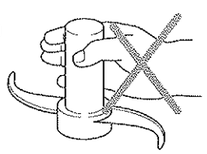
感電の原因になります。



濡手禁止

刃物の取り扱いには、必ず手袋を着用すること

ケガの原因になります。



手袋着用

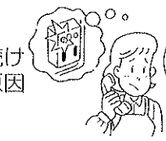
漏電遮断器を使用している場合、OFF（切）に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

無理にON（入）にすると、感電や火災の原因になります。

漏電連絡

異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

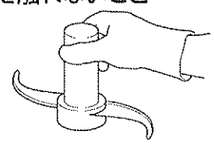
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

刃物の取り付け、取り外しは、電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜き、手袋をはめて行い、刃先に直接手を触れないこと

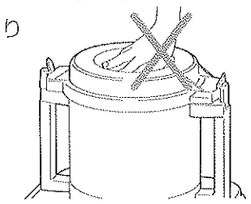
ケガの原因になります。



プラグを抜く

運転中に投入口から手や指を入れないこと

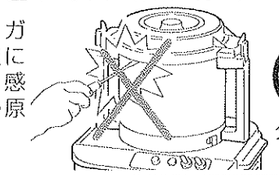
ケガの原因になります。



禁　止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと（お手入れ作業は除く）

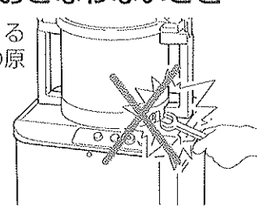
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。

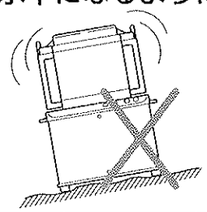


改造禁止

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

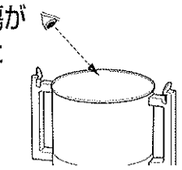
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜き、ホッパー内の食材を捨て、刃物の損傷がないことを確認すること

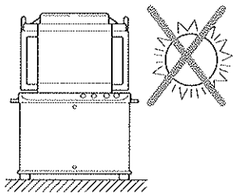
食材を捨てないと、刃物の破片が食材内に入り危険です。



異物確認

直射日光の当るところで使用しないこと

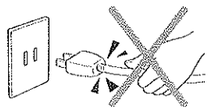
プラスチックが割れたりして危険です。



禁　止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

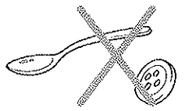
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁　止

投入口の中に食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

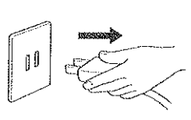
モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



異物禁止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

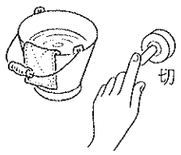
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

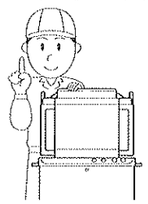
思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出してケガの原因になります。



プラグを抜く

廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

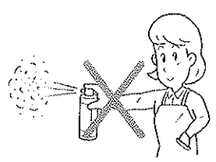
放置しますとケガの原因になることがあります。刃物は危険な物として処理してください。



専門業者

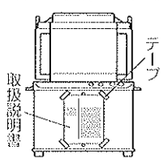
可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁　止

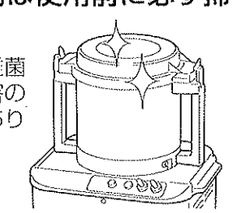
このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

ホッパー・刃物は使用前に必ず掃除をすること

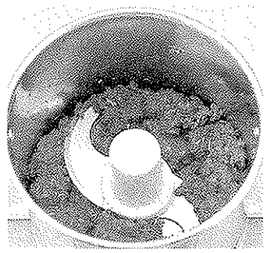
掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります



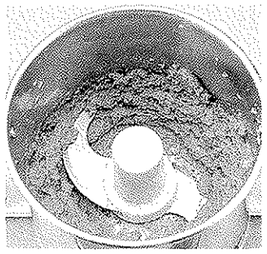
掃　除

■使用目的

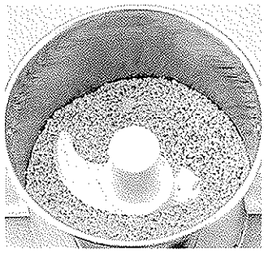
●食材を切る、混ぜる、こねて調理する機械です。



ミンチ



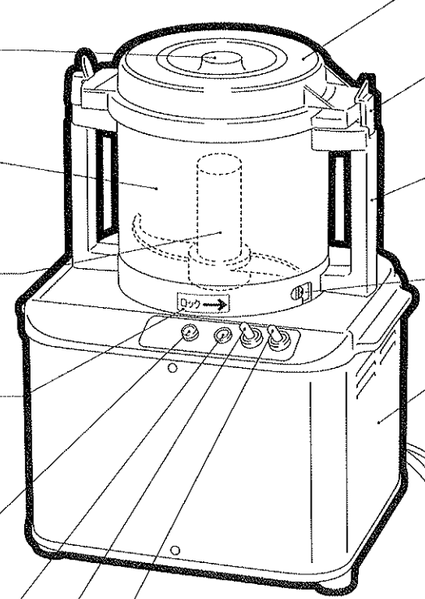
ギョウザのネタ



ピーナツの粉砕

魚のすり身

■本体　*イラストはPS-3000Sです。



フタ
食材を入れるとき取ります。

ストッパー
フタを止めます。

取手
ホッパーの取り外しのときに使います。

ロックピン
ホッパーと本体を固定します。

本体

アース線
万一の感電防止のため必ずアース工事をします。

電源プラグ
単相100V専用コンセントにつなぎます。

投入口フタ
運転中に食材を加えるとき取ります。

ホッパー
食材を入れます。

刃　物
食材を切ったり混ぜたりします。

ロックシール
ホッパーと本体の固定方向を示します。

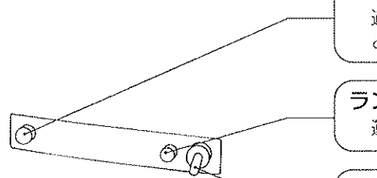
プロテクター
過負荷でモーターが止まったとき、このボタンを押します。

ランプ
運転中点灯します。

電源スイッチ
運転停止の操作に使います。

モーメンタリースイッチ
調理状態の調整をします。
手を離すとOFF(切)に戻ります。〔PS-3000Sにのみついています。〕

PS-2000Sスイッチ部

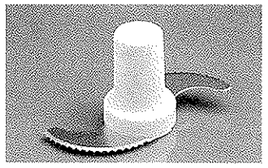


プロテクター
過負荷でモーターが止まったとき、このボタンを押します。

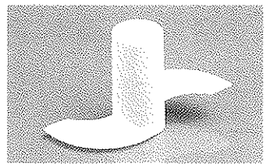
ランプ
運転中点灯します。

電源スイッチ
運転停止の操作に使います。

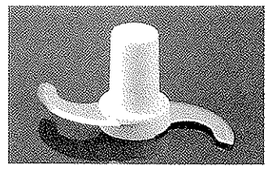
■別売品のご案内



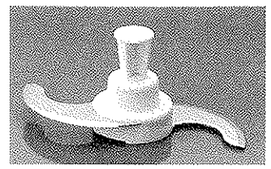
■波刃（PS-3000S用）
カニ殻の粉砕などに



■練刃（PS-3000S用）
パンの生地練りなどに



■替刃（PS-3000S用）



■替刃（PS-2000S用）

■注意ラベルの貼付位置

お願い

- ●ラベルを剥がさないでください。
- ●ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。
  ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

品名：PLラベル 722

⚠ 警 告	S
よく読む	この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえに取扱説明書をよくお読みになり十分に理解して下さい。

お願い

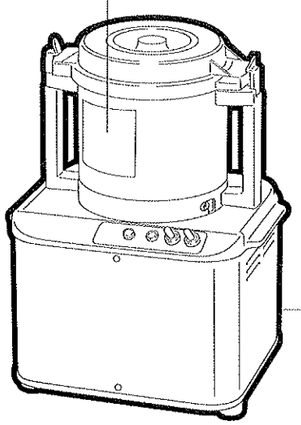
- フタの取り外しは、両側のストッパーを外してから行ってください。
  片側の場合、ストッパー破損の原因になります。
- 連続してお使いになると、食材によっては、温度が上がり変色することがあります。
- こちら側を前にして、ホッパーをはめ込んでください。反対にするとスイッチが入りません。

（ホッパー側面に貼り付けてあります）

品名：PLラベル／カンデン 702

	⚠警告
感電注意	感電のおそれあり アース工事を必ず行うこと アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

（本体背面に貼り付けてあります）



設置と運転前の確認

■設置

⚠ 警告

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

アース工事

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

熱器具禁止

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

専用電源

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。

禁　止

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。

屋外禁止

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

直射日光の当るところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。

禁　止

■運転前の確認

- ●電源は交流100Vに接続してください。
  使用電源電圧は90V～110Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障は保証いたしません。
- ●初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどがホッパー内に入っている恐れがありますので、掃除をしてください。（P.11 使用後のお手入れ参照）

ご使用方法

⚠ 警告

運転中に投入口から手や指を入れないこと

ケガの原因になります。

禁　止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

濡手禁止

刃物の取り付け、取り外しは、電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜き、手袋をはめて行い、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

プラグを抜く

異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

⚠ 注意

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

禁　止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

禁　止

１日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

プラグを抜く

投入口の中に食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。

異物禁止

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグを抜き、ホッパー内の食材を捨て、刃物の損傷がないことを確認すること

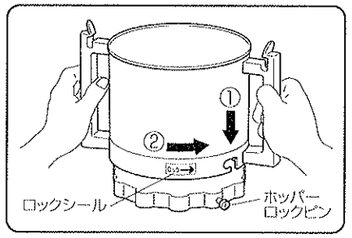
食材を捨てないと、刃物の破片が食材内に入り危険です。

異物確認

お願い

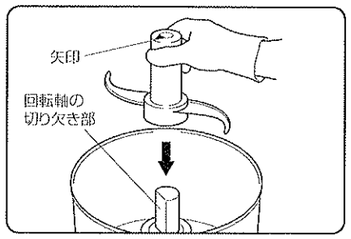
フタの取り外しは、両側のストッパーを外してから行ってください。片側のみ外してフタを取ると、ストッパーの破損の原因になります。

■運転の手順



1 ホッパーを本体に取り付ける。

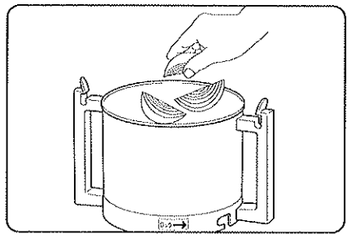
- ロックシールを手前にして、切り込み部分をロックピンにはめ込んでください。（ホッパーの向きが反対ですとフタが取り付けられません。）
- ホッパーを反時計方向に回して確実に固定してください。（確実に固定されていないと、フタが取り付けられない場合があります。



2 刃物を回転軸に差し込む。

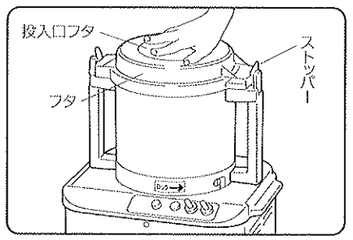
- 刃物の上部の矢印を、回転軸の切り欠き部の向きに合わせてください。
- 刃物を回転軸に差し込んでください。

※ホッパーの底と刃物は約3㎜すき間ができます。



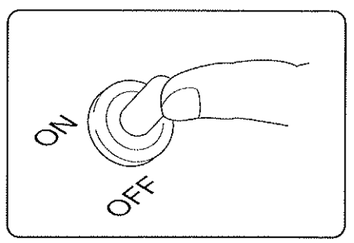
3 食材を入れる。

- 食材の種類に応じて適当な大きさに切ってからホッパーに入れてください。



4 ホッパーにフタを取り付ける。

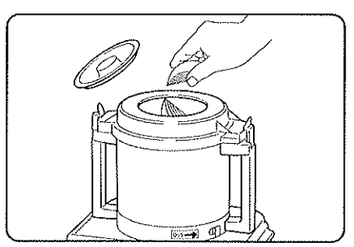
- ホッパーの取手についているストッパーでフタを確実に固定してください。（確実に固定されていないとスイッチを入れても動きません。）
- フタの投入口に、投入口フタをします。



5 電源スイッチをON（入）にする。

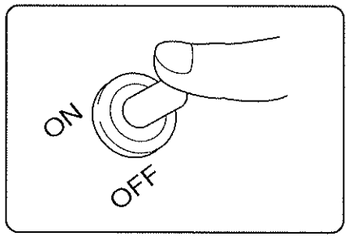
- 調理開始

※連続してお使いになると、食材によっては、温度が上がり変色することがあります。

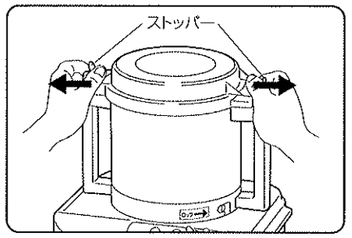


6 調理中に食材を追加する場合。

- 投入口フタをとって食材を追加してください。

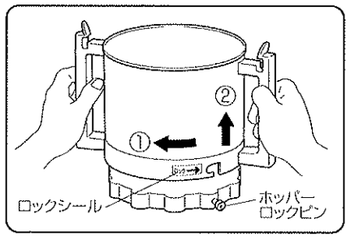


7 電源スイッチをOFF（切）にする。

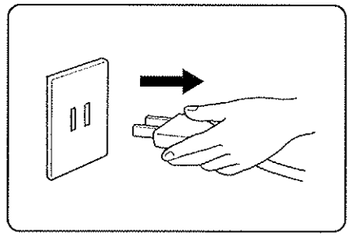


8 調理した食材を取り出す。

●刃物が完全に停止したのを確認してからストッパーを矢印の方向に外し、フタを取り外してください。
●刃物を上に抜いてください。



●ホッパーを時計方向に回して本体から外し、他の容器に調理物を取り出してください。

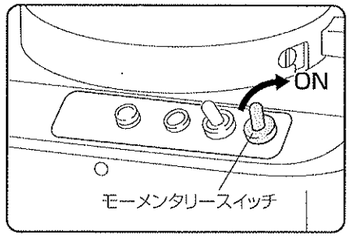


9 使用後は電源プラグを抜く。

●１日の営業が終了したら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

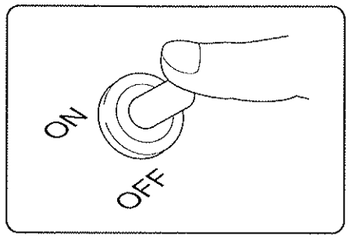
■モーメンタリースイッチについて（PS-3000Sのみ）

電源スイッチはON（入）にすると連続して刃物が回転しますが、モーメンタリースイッチは、スイッチレバーを押している間は刃物が回転し、離すと止まるスイッチです。調理によって使い分けてください。

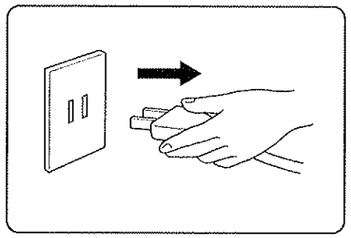


■プロテクターについて

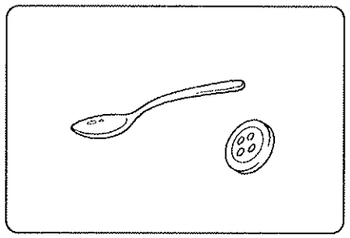
●モーターに負荷がかかり過ぎると自動的に製品を止める装置です。
●プロテクターは電源スイッチの左側に取り付けてあります。
●プロテクターが作動したときは、次の処置をしてください。



1 電源スイッチをOFF（切）にする。

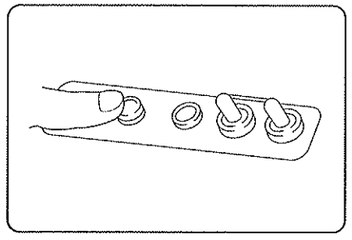


2 コンセントから電源プラグを抜く。



3 過負荷の原因を取り除く。

(例)固い食材が刃物とホッパーとの間に食い込んでロックすることが多い。この場合は、この食い込んだ食材を取り除いてください。



4 プロテクターの赤いボタンを押して復帰させる。

※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談ください。

■安全スイッチについて

●運転中に「フタ」を開けると、危険防止の為、安全スイッチが働き製品が停止します。
●安全スイッチを電源スイッチのかわりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。

お手入れ

⚠ 警告

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。

刃物の取り付け、取り外しは、電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜き、手袋をはめて行い、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

刃物の取り扱いには、必ず手袋を着用すること

ケガの原因になります。

⚠ 注意

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出してケガの原因になります。

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

ホッパー・刃物は使用前に必ず掃除をすること

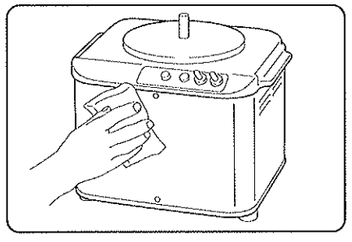
掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。

お願い

- ●40℃以上のお湯で洗わないでください。プラスチックが変形することがあります。
- ●塗装面やプラスチック部には、つぎのようなものは使わないでください。表面をいためます。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜鉛素酸ソーダ・たわしなど。ただし、化学雑巾・アルコール除菌剤をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

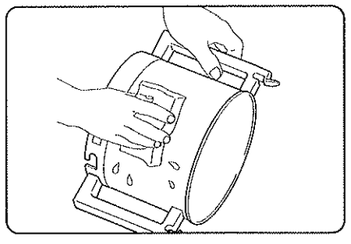
■毎日のお手入れ ●ご使用後は必ずお手入れをしてください。食材が腐り衛生的に非常に悪くなります。

●外装の掃除



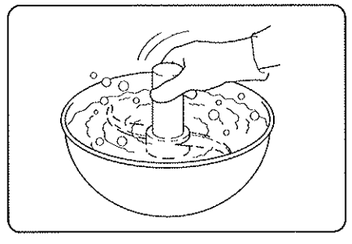
濡れた布巾で拭き取った後、充分に水気を拭き取ってください。特に汚れがひどいときは、中性洗剤をご使用ください。

●ホッパーの洗浄



スポンジ又は布巾に食器用洗剤を含ませて粗い水でよくすすぎ、乾いた布で水分をとり、充分に乾燥させてください。磨き粉や硬いタワシ、シンナーなどの溶剤は使わないでください。

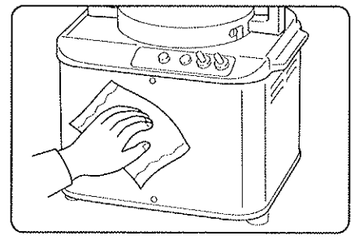
●刃物の洗浄



バケツやボールなどに水をはり、食器用洗剤を加えて、刃物の合成樹脂の部分を持って振り洗いした後、水で充分にすすぎ洗いをしてください。

■汚れが目立つときのお手入れ（本体外面）

●中性洗剤を入れたぬるま湯を含ませた布巾で拭いた後、洗剤分が残らないように水を含ませた布巾で拭き取ってください。



点検

■1年に1～2回の点検

⚠ 警告

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

アース線の点検

●アース線は切れたり、接続部がゆるんでいませんか？

異常がある場合は、電気工事店に修理依頼してください。

電源コード・プラグの点検

●専用コンセントを使用されていますか。

他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。

●電源プラグの刃の取り付け面及びコンセントに、ホコリが溜まっていませんか。

ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。

●電源コードが傷ついたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか。

異常がある場合は販売会社または、電気店に相談してください。

■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品をを十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

故障の見分け方と処置方法

⚠ 警告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
（お手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

お願い

●故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。

現　象	お調べいただきたいところ	処置方法
刃物が回らない	●電源プラグが抜け落ちていませんか？	●コンセントに差し込んでください。
	●プロテクターが作動していませんか？	●プロテクターの項参照。(P.10)
	●フタは確実に取り付けてありますか？	●フタを確実に取り付けてください。
食材の切れ味が悪い	●刃物が摩耗していませんか？	●刃物を研いでください。
		●刃物を取り替えてください。

譲渡・廃棄

■譲渡

⚠ 注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めすること

テープ止め

■廃棄

⚠ 注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物は危険な物として処理してください。

専門業者

仕様

品名	フードプロセッサー	
型式	PS-3000S	PS-2000S
電源	単相100V 50/60Hz	
定格消費電力	440/430W	390/380W
定格時間	連続	
質量（重量）	16.4kg	14.5kg
外形寸法(幅×奥行×高さ)	330×265×432㎜	325×274×386㎜
容量	約2リットル(最大使用可能量の目安)	約1.4リットル(最大使用可能量の目安)